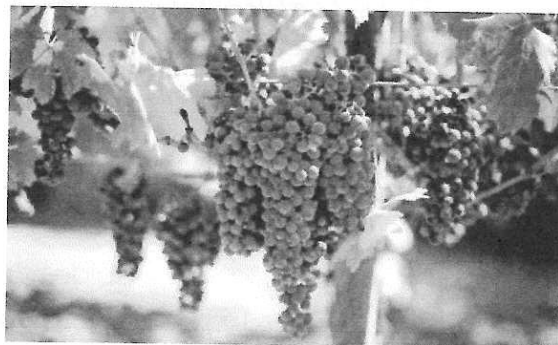


## ＜キリストにとどまる＞

ヨハネ15：1～5

ぶどうの木は、一本の幹から、あらゆる方向に枝を張って、多くの実を結ぶ。そのぶどうの木がイエス様で、それにつながる枝があなた方なのだと語られた。



わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。

【1節】

聖書は、ぶどうの木をイスラエルの民にたとえて語っている。

あなたは、エジプトから、ぶどうの木を携え出し、国々を追い出して、それを植えられました。

あなたがそのために、地を切り開かれたので、ぶどうの木は深く根を張り、地にはびこりました。

山々もその影におおわれ、神の杉の木もその大枝におおわれました。ぶどうの木はその枝を海にまで、若枝をあの川にまで伸ばしました。 詩篇80：8～11

なぜ、あなたは、石垣を破り、道を行くすべての者に、その実を摘み取らせなさるのですか。林のいのししはこれを食い荒らし、野に群がるものも、これを食べます。万軍の神よ。どうか、帰って来てください。天から目を注ぎ、よく見てください。そして、このぶどうの木を育ててください。また、あなたの右の手が植えた苗と、ご自分のために強くされた枝とを。それは火で焼かれ、切り倒されました。彼らは、御顔のとがめによって、滅びるのです。 詩篇80：12～16

さあ、わが愛する者のためにわたしは歌おう。そのぶどう畑についてのわが愛の歌を。わが愛する者は、よく肥えた山腹に、ぶどう畑を持っていた。彼はそこを掘り起こし、石を取り除き、そこに良いぶどうを植え、その中にやぐらを立て、酒ぶねまでも掘って、甘いぶどうのなるのを待ち望んでいた。ところが、酸いぶどうができてしまった。 イザヤ5：1～2

◆旧約時代に神が「ぶどうの木」として選んだイスラエルは、実を結ぶことができなかった。

ヨハネ15章の重要なキーワード・・・「とどまる」 ギリシャ語「メノー」。

「わたしにとどまりなさい」

「わたしのことばにとどまりなさい」

「わたしの愛の中にとどまりなさい」

わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。【4節】

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。【5節】

「とどまる」・・・abide 居住する。住む。という意味。一時滞在ではない。

詩篇91篇 いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。

避け所である主をいと高き方をあなたの住まいとしたからだ。

キリストにとどまる・・・キリストのみことばにとどまる。

イエス様の十字架によって完成された新しい契約に生きること。

恵みによって生かされること。

イスラエルの民が、なぜ荒野で不信仰になったか？

福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。 ヘブル4：2

モーセを通して神のことばを聞いたけれど、その言葉が聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったから。益にならなかった。実を結ばなかった。

◆聞いた言葉が信仰によって結びつけられる必要がある。神のことばを信仰によって私たちの内に結びつけてくださるのが、助け主なる聖霊。

◆御ことばが信仰によって私の内に結びつく。みことばを体験する。

中心にあるのは、イエスキリストの贖罪。十字架の贖いが完成されているということ。自分で完成させるために頑張るのではない。すでに完成しているからやり遂げる。